

## 平成 30 年度 施策評価表

施策	0301	文化財の保護・活用・継承	施策担当部等	教育委員会	部長	吉村武史
			施策担当課等	文化振興課	課長	大野安生
施策の方針	貴重な歴史遺産である文化財の保護・活用や、各地域で継承されてきた民俗芸能等の保存・継承を推進する。また、歴史資料館の整備を行い、郷土の歴史に触れる機会を創出する。					

### 【DO（実施）】

#### 基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 指定文化財の数	件	48	49 48.0	50 49	50	50	50	98.0%	98.0%
② 芸能の保存団体数	団体	19	20 21.0	20 21	21	21	22	105.0%	95.5%
③ 大村市歴史資料館（仮称）の年間入館者数	人	6,787	7,000 7,554	3,000 3,911	-	12,000	20,000	130.4%	19.6%
④									
⑤									

#### 施策達成状況の説明

指定文化財の数は、予定物件の事務が困難な状況のまま変化がない。これとは別に、過去、指定を検討した別件（福重周辺に分布する中世石仏）の再調査に今年度着手し、今後の指定を目指す。  
 芸能保存団体の数は、昨年度、達成した目標値を維持している。  
 資料館入館者数は、9月末までの開館期間で目標を達成した。

#### 施策経費

(単位:千円)		H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
内訳	事業費	273,553	731,488	453,109	
	国庫支出金	230,849	256,904	46,586	
	県支出金	1,164	1,654	1,404	
	地方債	6,500	378,100	248,300	
	その他	1,203	1,479	1,378	
	一般財源	33,837	93,351	155,441	
	人件費	31,802	35,851	-	
フルコスト	305,355	767,339	-		

#### 施策の概要

030101	文化財の保護・活用	本経寺や旧円融寺庭園をはじめとする歴史遺産を後世へ継承するため、文化財の計画的な調査・研究、保存に努め、重要なものについては文化財指定を進め、保護を図ります。 また、文化財は個人所有のものも多く、その保護には市民の理解、協力が必要となることから、その存在や価値を広く周知するための情報発信・活用を進めます。
030102	民俗芸能等の継承	伝統文化を受け継ぎ、郷土を愛する教育の推進を図るため、国指定重要無形民俗文化財に指定されている「大村の郡三踊」（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）をはじめとする民俗芸能や伝統行事について、後継者や指導者の育成支援や記録保存を行います。
030103	郷土教育の充実	多くの市民が郷土の歴史に関心を持ち理解を深めることができるよう、郷土史講演会などを開催します。 また、小・中学生の頃から郷土史に詳しく触れる機会を設け、郷土愛の醸成を図ります。
030104	大村市歴史資料館（仮称）の整備	郷土の歴史に触れ、貴重な歴史遺産を後世に伝える施設として、県立・大村市立一体型図書館（仮称）に併設して新たな歴史資料館を整備します。

**【CHECK (評価) 施策担当部長】**

施策を達成 する上での 問題点・課 題	指定に向けた調査を行う中世石仏は個人が所有するものであるため、指定同意を得るためにも所有者に対して十分な説明を行い理解、協力を求めていく必要がある。
------------------------------	--

**【CHECK (評価) 評価調整委員会】**

(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)	
------------------------	--

**【ACTION (改善・改革)】**

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	中世石仏の指定に向けた調査は、30年度に行った調査状況から、少なくとも31年度も継続して行う作業量があることが分かった。調査指導をお願いする協力者及び所有者との連絡は適宜行い、進捗状況等の情報を共有しながら、確実に進める必要がある。
--	--

**平成31年度新規事業**

	事業名 (仮称)	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	